

平成 25 年 1 月 1 日

呼吸器内科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 外科的肺生検によって診断した特発性間質性肺炎の臨床病理学的検討

[研究機関] 北海道医療センター 呼吸器内科

[研究責任者] 内科系診療部長 山本宏司

[研究の目的]

特発性間質性肺炎は、原因不明の間質性肺炎の総称で、病型により治療や予後が異なっています。病型診断は胸部CT、血液検査などにより診断可能な例もありますが、外科的肺生検（胸腔鏡下肺生検）が必要な例もあります。しかし、外科的肺生検は術後の急性増悪の可能性もあり、実施には慎重な判断が求められます。

そのため、当科で過去5年間に外科的肺生検によって診断した特発性間質性肺炎例について検討しました。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2008年1月1日から平成24年12月31日の間に外科的肺生検を受けた特発性間質性肺炎の患者さん

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、病歴、身体所見、検査結果（血液検査など一般的検査、XP 検査、CT 検査、Ga シンチなどの画像検査）、治療内容、経過。

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[問い合わせ先]

北海道札幌市西区山の手5条7丁目1-1

北海道医療センター呼吸器内科 担当医師 山本宏司

電話 011-611-8111 FAX 011-611-5820